

1 事業概要

事務事業名 地域の人権平和・多文化学習交流支援事業		課名	公民館	事業No.	310	
		会計	一般会計			
		事業区分	政策	実施区分	継続	
		開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画					
		分野別計画			飯田市版総合戦略	
					飯田市教育振興計画	
	法令・例規等			飯田市公民館基本方針		
			社会教育法			
事業目的	対象	各地区住民				
	意図	身近な地域の中で相互の文化の違いや多様性を理解し、人権意識を高める学習と交流を深める				

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	地区公民館事業 ・住民相互の文化の違いや多様性を理解し、人権・平和の意識を高める学習や交流を実施しました。 ・日本語教室（羽場、竜丘）、多文化交流・国際理解教育事業（松尾、羽場、山本） ・人権学習（川路、伊賀良、上郷、南信濃） ・平和学習（上久堅、山本）		人権教育・平和学習会、多文化共生事業等				267	
			その他の経費				0	
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
	人権・平和学習会、交流会開催回数	回	86	92				
	講座等参加者延べ人数	人	1,715	1,756				
29年度 決算 (千円)	予算額	299	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	267						
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
	一般財源	267						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	299	267	公民館事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		<p>・高齢者や障がい者、外国人住民の互いの理解や人権に関する講座、日本語教室等の取組をしました。互いを尊重し、支え合う社会をめざすためには、日々の暮らしの中でのさらなる人権・平和に対する意識の向上は欠かせないことです。 ・平和学習として、戦争体験者の話を聞いたり満州移民について取り組みましたが、戦争体験者が減少し、平和への意識が低下していくことが課題となっており、さらに多くの地区で取り組む必要があります。</p>							
上記の課題解決のための有効策		<p>・地区内の高齢者や障がい者、外国人住民と地区住民や小中学生が交流する場を積極的に提供できるよう取り組みます。</p>							
次年度に向けての取り組み		<p>・各地区において、人権、平和、国際理解教育に取り組みます。 ・地区内の高齢者や障がい者、外国人住民と地区住民や小中学生が交流する場を提供します。</p>							